

表 4-5-1

Bセクシュアル・ハラスメント				
		1～4年前		
		あてはま る	あてはま らない	統計的 検定
10歳代	14	0.0%	100.0%	p=.018 *
20歳代	38	15.8%	84.2%	
30歳代	41	7.3%	92.7%	
40歳代	43	4.7%	95.3%	
50歳代	49	2.0%	98.0%	
60歳代	44	0.0%	100.0%	
70歳代以上	20	0.0%	100.0%	
合計	249	4.8%	95.2%	

表 4-5-2

E学校でのいじめ												
		1～4年前			5～9年前			10年以上前				
		あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定		
10歳代	14	7.1%	92.9%	p=.114	14	42.9%	57.1%	p<.001 ***	14	0.0%	100.0%	p<.001 ***
20歳代	38	2.6%	97.4%		38	31.6%	68.4%		38	44.7%	55.3%	
30歳代	41	0.0%	100.0%		41	0.0%	100.0%		41	56.1%	43.9%	
40歳代	43	0.0%	100.0%		43	0.0%	100.0%		43	58.1%	41.9%	
50歳代	49	0.0%	100.0%		49	0.0%	100.0%		49	49.0%	51.0%	
60歳代	44	0.0%	100.0%		44	0.0%	100.0%		44	27.3%	72.7%	
70歳代以上	20	0.0%	100.0%		20	0.0%	100.0%		20	10.0%	90.0%	
合計	249	0.8%	99.2%		249	7.2%	92.8%		249	41.4%	58.6%	

表 4-5-3

F先生からの体罰・暴言など												
		1～4年前			5～9年前			10年以上前				
		あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定		
10歳代	14	7.1%	92.9%	p=.198	14	14.3%	85.7%	p=.002 **	14	0.0%	100.0%	p=.271
20歳代	38	5.3%	94.7%		38	5.3%	94.7%		38	18.4%	81.6%	
30歳代	41	0.0%	100.0%		41	0.0%	100.0%		41	26.8%	73.2%	
40歳代	43	2.3%	97.7%		43	0.0%	100.0%		43	18.6%	81.4%	
50歳代	49	0.0%	100.0%		49	0.0%	100.0%		49	28.6%	71.4%	
60歳代	44	0.0%	100.0%		44	0.0%	100.0%		44	27.3%	72.7%	
70歳代以上	20	0.0%	100.0%		20	0.0%	100.0%		20	15.0%	85.0%	
合計	249	1.6%	98.4%		249	1.6%	98.4%		249	22.1%	77.9%	

表 4-5-4

M1職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど											
	1～4年前			5～9年前			10年以上前				
	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定		
10歳代	14	7.1%	92.9% p=.303	14	0.0%	100.0% p=.003 **	14	0.0%	100.0% p=.050		
20歳代	38	21.1%	78.9%	38	7.9%	92.1%	38	2.6%	97.4%		
30歳代	41	19.5%	80.5%	41	14.6%	85.4%	41	22.0%	78.0%		
40歳代	43	14.0%	86.0%	43	4.7%	95.3%	43	20.9%	79.1%		
50歳代	49	10.2%	89.8%	49	26.5%	73.5%	49	14.3%	85.7%		
60歳代	44	6.8%	93.2%	44	6.8%	93.2%	44	25.0%	75.0%		
70歳代以上	20	5.0%	95.0%	20	0.0%	100.0%	20	15.0%	85.0%		
合計	249	12.9%	87.1%	249	10.8%	89.2%	249	16.1%	83.9%		

表 4-5-5

O1ラインやツイッターなどのインターネットによる人権侵害											
	1～4年前			5～9年前			10年以上前				
	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定	あてはま る	あてはま らない	統計的 検定		
10歳代	14	14.3%	85.7% p=.002 **	14	0.0%	100.0% p=.177	14	0.0%	100.0% p=.311		
20歳代	38	18.4%	81.6%	38	7.9%	92.1%	38	0.0%	100.0%		
30歳代	41	0.0%	100.0%	41	4.9%	95.1%	41	0.0%	100.0%		
40歳代	43	2.3%	97.7%	43	0.0%	100.0%	43	0.0%	100.0%		
50歳代	49	2.0%	98.0%	49	2.0%	98.0%	49	0.0%	100.0%		
60歳代	44	4.5%	95.5%	44	0.0%	100.0%	44	2.3%	97.7%		
70歳代以上	20	0.0%	100.0%	20	0.0%	100.0%	20	5.0%	95.0%		
合計	249	5.2%	94.8%	249	2.4%	97.6%	249	0.8%	99.2%		

問 4-2 上記 A～Qの中で一番つらかった人権侵害を教えてください。

一番つらかった人権侵害を問うたところ、表 4-6 のように、「E 学校でのいじめ」22.7%、「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」19.1%、「A ドメスティック・バイオレンス」9.8%と続きます。

表 4-6

256 人中

2-一番つらかった人権侵害		
	度数	パーセント
A ドメスティック・バイオレンス	25	9.8
B セクシュアル・ハラスメント	5	2.0
C 性差による不当な扱いや言動	7	2.7
D 親からの虐待	11	4.3
E 学校でのいじめ	58	22.7
F 先生からの体罰・暴言など	11	4.3
G 心身の障害に係わる不当な扱いや言動	5	2.0
H 出生地や住所地に係わる不当な扱いや言動	2	.8
I 部落差別に関する不当な扱いや言動	6	2.3
J 外国籍に係わる不当な扱いや言動	3	1.2
K 性の多様性に関する不当な扱いや言動	2	.8
L 地域での仲間はずれ	3	1.2
M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど	49	19.1
N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害	19	7.4
O ラインやツイッターなどのインターネットによる人権侵害	6	2.3
P 性犯罪	3	1.2
Q その他	12	4.7
無回答	29	11.3
合計	256	100.0

この結果から、「学校でのいじめ」のように、10年以上前に経験したことであっても、それを経験した人びとにとっては、つらかったという思いが失せてはいないということがわかります。

表 4-7 は、性別による一番つらかった人権侵害を求めたものです。その結果、何らかの人権侵害を被った男性 85 人のうちでは、「E 学校でのいじめ」35.1%、「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」25.7%、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」8.1%、「F 先生からの体罰・暴言など」6.8%、「I 部落差別に関する不当な扱いや言動」6.8%と続きます。

何らかの人権侵害を被った女性 162 人のうちでは、「E 学校でのいじめ」21.4%、「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」20.0%に次いで、「A ドメスティック・バイオレンス」15.2%となっており、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」7.6%と続きます。

また、何らかの人権侵害を被った性別未選択者 5 人のうちでは、「K 性の多様性に関する不当な扱いや言動」40.0%、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」40.0%、「D 親からの虐待」20.0%となっています。

表 4-7

2一番つらかった人権侵害		答えることができない・答えたくない		
		男性	女性	
A ドメスティック・バイオレンス	24	2.7%	15.2%	0.0%
B セクシュアル・ハラスメント	5	0.0%	3.4%	0.0%
C 性差による不当な扱いや言動	7	0.0%	4.8%	0.0%
D 親からの虐待	11	2.7%	5.5%	20.0%
E 学校でのいじめ	57	35.1%	21.4%	0.0%
F 先生からの体罰・暴言など	11	6.8%	4.1%	0.0%
G 心身の障害に係わる不当な扱いや言動	5	2.7%	2.1%	0.0%
H 出生地や住所地に係わる不当な扱いや言動	2	2.7%	0.0%	0.0%
I 部落差別に関する不当な扱いや言動	6	6.8%	0.7%	0.0%
J 外国籍に係わる不当な扱いや言動	3	1.4%	1.4%	0.0%
K 性の多様性に関する不当な扱いや言動	2	0.0%	0.0%	40.0%
L 地域での仲間はずれ	3	1.4%	1.4%	0.0%
M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど	48	25.7%	20.0%	0.0%
N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害	19	8.1%	7.6%	40.0%
O ラインやツイッターなどのインターネットによる人権侵害	6	1.4%	3.4%	0.0%
P 性犯罪	3	0.0%	2.1%	0.0%
Q その他	12	2.7%	6.9%	0.0%

表 4-8 は、年代別の一番つらかった人権侵害を求めたものです。

10 歳代、20 歳代、40 歳代では、「E 学校でのいじめ」が最も高い比率になっています。30 歳代では、「E 学校でのいじめ」は 2 番目の高さです。また、10 歳代では、「F 先生からの体罰・暴言など」も高いことがわかります。20 歳代から 60 歳代まで「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」が高くなっており、30 歳代では、最も高い比率になっています。50 歳代、60 歳代、70 歳代以上で、「A ドメスティック・バイオレンス」が高いことがわかります。「I 部落差別に関する不当な扱いや言動」は、60 歳代、70 歳代以上で高いことがわかります。70 歳代以上で、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」が高いことも付け加えておきます。

表 4-8

2一番つらかった人権侵害		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
A ドメスティック・バイオレンス	24	0.0%	0.0%	10.3%	5.0%	20.5%	13.5%	28.6%
B セクシュアル・ハラスメント	5	0.0%	5.4%	5.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
C 性差による不当な扱いや言動	7	0.0%	0.0%	2.6%	2.5%	4.5%	5.4%	7.1%
D 親からの虐待	11	0.0%	5.4%	7.7%	5.0%	4.5%	2.7%	7.1%
E 学校でのいじめ	57	38.5%	40.5%	25.6%	32.5%	20.5%	13.5%	0.0%
F 先生からの体罰・暴言など	11	15.4%	5.4%	0.0%	5.0%	9.1%	2.7%	0.0%
G 心身の障害に係わる不当な扱いや言動	5	7.7%	2.7%	0.0%	5.0%	0.0%	2.7%	0.0%
H 出生地や住所地に係わる不当な扱いや言動	2	0.0%	0.0%	2.6%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
I 部落差別に関する不当な扱いや言動	6	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	8.1%	14.3%
J 外国籍に係わる不当な扱いや言動	3	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	5.4%	0.0%
K 性の多様性に関する不当な扱いや言動	2	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
L 地域での仲間はずれ	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	5.4%	0.0%
M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど	48	7.7%	18.9%	33.3%	20.0%	25.0%	18.9%	7.1%
N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害	19	15.4%	5.4%	5.1%	12.5%	2.3%	10.8%	21.4%
O ラインやツイッターなどのインターネットによる人権侵害	6	7.7%	2.7%	2.6%	2.5%	2.3%	0.0%	7.1%
P 性犯罪	3	0.0%	2.7%	2.6%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
Q その他	12	7.7%	5.4%	2.6%	2.5%	4.5%	10.8%	7.1%

**問4-3 その時あなたはどうされましたか。あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)**

人権侵害を経験した256人のうち、一番つらかった人権侵害を受けた時の対応をみると、表4-9のように、「家族や友人など信頼できる人に相談した」42.6%が最も高く、「相手に抗議した」14.8%、「職場や学校の相談窓口相談した」10.2%となっています。しかし、「何もできなかった」34.0%、「どのようにしたらいいのかわからなかった」26.6%といった、“泣き寝入り”するしかなかったという比率の高さも無視できません。公的機関への相談の比率も総じて極めて低いことがわかります。

表4-9

256人中	
一番つらかった人権侵害を受けた時の対応	比率
1 家族や友人など信頼できる人に相談した	42.6
2 警察に相談した	1.2
3 弁護士に相談した	4.7
4 公的機関（法務局・県庁・市役所などの人権相談窓口など）に相談した	3.5
5 地域の自治会長や民生委員・児童委員、人権擁護委員に相談した	0.8
6 当事者団体などの民間団体に相談した	1.2
7 職場や学校の相談窓口相談した	10.2
8 相手に抗議した	14.8
9 何もできなかった	34.0
10 どのようにしたらいいのかわからなかった	26.6
11 その他	13.3

表4-10は、一番つらかった人権侵害について対応の仕方をまとめたものです。

家族や友人に相談したり、弁護士や公的機関に相談したり、あるいは、相手に抗議したりといった対応を取ることができた事象はまだしもと言えるかもしれませんが、「B セクシュアル・ハラスメント」、「F 先生からの体罰・暴言など」、「H 出生地や住所地に係わる不当な扱いや言動」、「K 性の多様性に関する不当な扱いや言動」、「L 地域での仲間はずれ」、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」「P 性犯罪」などは、「何もできなかった」、「どのようにしたらいいのかわからなかった」といった比率の高い事象であることがわかります。

表 4-10

		1 で き 家 族 人 や に 友 相 人 談 な し ど た 信 頼	2 警 察 に 相 談 し た	3 弁 護 士 に 相 談 し た	4 公 的 機 関 に 相 談 し た	5 権 生 擁 護 委 員 会 に 相 談 し た	6 地 域 の 自 治 体 長 や 民 間 団 体 に 相 談 し た	7 職 場 や 学 校 の 相 談 窓 口	8 相 手 に 抗 議 し た	9 何 も で き な か っ た	10 た い の ど か わ か ら な か っ た	11 1 1 そ の 他
2-一番つらかった人権侵害	226	42.5%	1.3%	4.0%	4.0%	0.9%	1.3%	10.2%	15.0%	35.0%	27.9%	13.7%
A ドメスティック・バイオレンス	25	48.0%	8.0%	16.0%	12.0%	4.0%	8.0%	4.0%	28.0%	28.0%	32.0%	12.0%
B セクシュアル・ハラスメント	5	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	60.0%	20.0%
C 性差による不当な扱いや言動	7	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%
D 親からの虐待	11	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	45.5%	36.4%	9.1%
E 学校でのいじめ	58	51.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	8.6%	31.0%	24.1%	13.8%
F 先生からの体罰・暴言など	11	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	27.3%	0.0%
G 心身の障害に係わる不当な扱いや言動	5	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%
H 出生地や住所地に係わる不当な扱いや言動	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
I 部落差別に関する不当な扱いや言動	6	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%
J 外国籍に係わる不当な扱いや言動	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
K 性の多様性に関する不当な扱いや言動	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
L 地域での仲間はずれ	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど	48	52.1%	0.0%	6.3%	4.2%	0.0%	0.0%	27.1%	20.8%	16.7%	12.5%	12.5%
N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害	19	36.8%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	52.6%	47.4%	21.1%
O ラインやツイッターなどのインターネットによる人権侵害	6	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%
P 性犯罪	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%
Q その他	12	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	66.7%	25.0%	16.7%

問 4-4 その問題は解決しましたか (いずれか 1 つに○)

一番つらかった人権侵害について、「解決した」48.4%、「部分的に解決した」16.8%、「解決していない」26.2%、「解決に向けて継続中」5.1%となっています。

表 4-11

256 人中

4 その問題は解決しましたか		
	度数	パーセント
解決した	124	48.4
部分的に解決した	43	16.8
解決していない	67	26.2
解決に向けて継続中	13	5.1
無回答	9	3.5
合計	256	100.0

以下、クロス集計を行ううえで、項目を順序尺度になるように、「解決した」、「部分的に解決した」、「解決に向けて継続中」、「解決していない」と変更します。

表 4-12 は、一番つらかった人権侵害の事象別に解決状況をみたものです。「E 学校でのいじめ」では、「解決した」63.2%と他よりも高くなっています。クラスが変わったり、学校が変わったりして解決した人びとも含まれているかもしれません。

「A ドメスティック・バイオレンス」が「解決した」48.0%と約半数ですが、中には、離婚によって解決した人が含まれているかもしれません。しかし、それぞれの事象について、どのような対応によって解決したのかはわかりません。

そこで、一番つらい人権侵害を経験した人数の多い事象に限って、問題への対応の仕方と解決の有無との関連を見ることにします。

「A ドメスティック・バイオレンス」では、だれかに相談した場合は、だれにも相談しなかった場合よりも「解決した」比率が高いことがわかります。

なお、「A ドメスティック・バイオレンス」を、10年以上前に被害を受けた人は23人であり、その中で、5～9年前にも被害を受けた人は4人(17.4%)、そして、1～4年前も受けた人は3人(13.0%)です。この3人のうち1人目(50代女性、自営業)は、10年以上前に、「E 学校でのいじめ」、「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」も経験しており、一番、つらかったのは「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」と回答しています。「A ドメスティック・バイオレンス」が解決したのかどうかはわかりません。2人目(40代女性、無職)は、10年前に「B セクシュアル・ハラスメント」や「F 先生からの体罰・暴言など」を経験しており、1～4年前に「C 性差による不当な扱いや言動」も経験しています。一番、つらかったのは「E 先生からの体罰・暴言など」と回答しています。「A ドメスティック・バイオレンス」が解決したのかどうかはわかりません。3人目(50代女性、非正規職員)は、ドメスティック・バイオレンスをずっと受

け続けてきて、一番つらかったのは、「A ドメスティック・バイオレンス」と回答しており、しかし、「何もできなかった」、「どのようにしたらいいかわからなかった」ということで、今も解決しておらず、婚姻関係が続いているとのこと。

「A ドメスティック・バイオレンス」を、5～9年前から1～4年前にも被害を受けた人は1人です。その人（50代女性、無職）は、一番つらかったこととして、「A ドメスティック・バイオレンス」をあげており、「家族や友人などに相談した」、「弁護士に相談した」と、なっています。離婚調停中ですが、生活費を払ってもらえないとのこと。

回答者の中で（30代女性、非正規職員）、1～4年前に「A ドメスティック・バイオレンス」、「B セクシュアル・ハラスメント」、「C 性差による不当な扱いや言動」、「G 心身の障害に関わる不当な扱いや言動」、「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメント」を経験したという人がいます。一番つらかった人権侵害は、10年以上前の「P 性犯罪」で、「何もできなかった」とのこと、未だ「解決していない」そうです。

「D 親からの虐待」の場合、「家族や友人など信頼できる人に相談した」場合は、半数が問題解決していますが、「何もできなかった」場合が過半数を占めています。親からの虐待を受けている場合の子どもの相談先が課題であると言えます。

回答者の中で、1人（30代女性、非正規職）は、10年以上前、5～9年前、そして、1～4年前と、「D 親からの虐待」を受けており、一番つらかった経験も「D 親からの虐待」と回答しています。「公的機関に相談した」が、「女性相談に相談したが頭ごなしに上からの物言いや否定しかされなかった」とのこと、未だに「解決していない」そうです。

「E 学校でのいじめ」および「F 先生からの体罰・暴言など」の人権侵害において、家族や他の相談機関に相談した場合は、半数以上が問題解決をしています。しかし、反対に、「何もできなかった」場合、問題解決していない比率が高くなっています。

なお、「E 学校でのいじめ」および「F 先生からの体罰・暴言など」については、回答者の中で、10年以上前に経験して、5～9年前にも経験した人、あるいは、5～9年前に経験して、1～4年前にも経験した人はいません。

「G 心身の障害に関わる不当な扱いや言動」を、すべての期間をとおして経験した人が2人います。1人目（20代男性、自由業）は、「Q その他」として、「学校教育において、多数派と同じ言動を強制されること」と記しています。対処として、「無言の抗議（相手の指示に従わない等）」を行ったそうですが、解決しておらず、「学校教育に依然として変化が見られないため」と記しています。

「H 出生地や住所地に関わる不当な扱いや言動」、「I 部落差別に関する不当な扱いや言動」、「J 外国籍に関わる不当な扱いや言動」を10年以上前から1～4年前まで、あるいは、5～9年前から1～4年前まで被害を被っているという人はいませんでした。

「K 性の多様性に関する不当な扱いや言動」を、5～9年前から1～4年前にわたって被ってきた人が1人います。その人（性別未選択者 20代、自由業）は、一番つらかった人権侵害とも答えており、「何もできなかった」、「どのようにしたらいいのかわからなかった」とのことです。未だ「解決はしていない」状況です。

「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」、「N あらぬうわさや悪口による、名誉・信用などの侵害」においても、家族や友人、あるいはだれかに相談した場合は、「何もできなかった」場合よりも問題解決できているように解釈されます。

「M 職場でのいじめ、暴力、パワーハラスメントなど」を10年以上前に経験し、1～